〈存在〉

第一の意味
存在を思考しようとするときにそれを対象的存在者として立てざるをえなくなるというほとんど根絶しがたい習慣を回避するために用いられた抹消記号。

第二の意味
この交差のしるしは四つの方域と四つの方面が交差する場を示している。

~~存在~~

おのおのの系はその内に対立・背反する動向を蔵している。存在と無が互いに拮抗しつつ誘導するひとつの閉じた完結した空間／場所が表現されている。

ハイデガー『有の問いへ』斎藤慶典『思考の臨界』より　小田原のどか